

教育

(1) 子供が携帯電話を持つことの是非

Yes

安全性

携帯電話は安全性を高めます。

もしよくないことが起こった場合、子供たちは携帯電話で親に連絡することができます。

教育

(2) 子供が携帯電話を持つことの是非

Yes

教育的な使い方

携帯電話は子供たちに多くのことを教えるために使うことができます。

例えば、子供は携帯電話で教育的なゲームをすることができます。

教育

(3) 子供が携帯電話を持つことの是非

No

目への負担

子供が一日中画面を見ているのはよくありません。

携帯電話の使用は目にダメージを与えることがあります。

教育

(4) 子供が携帯電話を持つことの是非

No

単なるおもちゃとしての使いかた

子供たちは携帯電話をおもちゃだと考えています。

ゲームをするにしか携帯電話を使いません。

教育

(5) 子供が携帯電話を持つことの是非

No

依存性と健康への影響

携帯電話には依存性があります。

多くの子供たちが携帯電話を使いすぎており、健康上の問題を引き起こしています。

教育

Yes

(6) テレビゲームは子供に悪影響を与えるか

依存性と勉強時間

テレビゲームをしすぎると子供たちには勉強する時間がありません。

このことはこうした子供たちの教育に悪影響を及ぼします。

教育

Yes

(7) テレビゲームは子供に悪影響を与えるか

健康と社会性への影響

子供たちは友人たちと外で過ごす必要があります。

テレビゲームは子供たちの健康と社会性を損ないます。

教育

Yes

(8) テレビゲームは子供に悪影響を与えるか

活動的な生活の阻害

子供たちは健康を保つためにたくさん運動をする必要があります。

テレビゲームをしていたら、活動的な生活はできないでしょう。

教育

Yes

(9) テレビゲームは子供に悪影響を与えるか

暴力的になる危険性

最近のテレビゲームの多くはとても暴力的です。

こうしたゲームは子供たちの暴力性を高めるという人もいます。

教育

No

(10) テレビゲームは子供に悪影響を与えるか

リラックスする方法

子供たちは最近ではあまりにも多くの勉強をしなければなりません。

テレビゲームは子供たちがリラックスする良い方法です。

教育

(11) テレビゲームは子供に悪影響を与えるか

No

子供を賢くするゲーム

テレビゲームは子供たちを賢くする可能性があります。

例えば、多くのゲームには複雑なパズルがあります。

教育

(12) テレビゲームは子供に悪影響を与えるか

No

インターネット上で遊ぶテレビゲーム

インターネット上で遊べるテレビゲームもあります。

こうしたゲームをする子供たちは、世界中の新しい友人と会うことができます。

教育

(13) 土曜日授業は必要か

Yes

自分で学習するのが困難な生徒の補助

多くの生徒たちは自分で学習するのに困難を抱えています。

土曜日に授業があれば、生徒たちが難しいことを学んだり、勉強していることを理解したりするのに役立ちます。

教育

(14) 土曜日授業は必要か

Yes

生徒をだらけさせない効果

多くの生徒たちは週末にだらけています。

学校があればだらけずに勉強に集中できるでしょう。

教育

(15) 土曜日授業は必要か

No

すでに忙しすぎる生徒

生徒たちはすでに忙しすぎます。

私たちは子供たちに勉強することが人生で唯一重要なことだと教えるべきではありません。

教育

(16) 土曜日授業は必要か

No

親と過ごすべき時間

多くの生徒たちは親と十分な時間をすごしていません。

週末には家庭の活動をすべきです。

教育

(17) 土曜日授業は必要か

No

すでに忙しすぎる教師

教師はすでに忙しすぎます。

土曜日の授業の準備をする時間はありません。

教育

(18) 宿題を廃止することの是非

Yes

家事を手伝う時間

生徒たちは家事を手伝う時間を増やすべきです。

大人になったときにもっと自立できます。

教育

(19) 宿題を廃止することの是非

Yes

勉強ばかりさせるべきではない

生徒たちがちゃんと授業を聞いていれば、十分に学ぶことができます。

私たちは生徒たちにずっと学ばせておくべきではありません。

教育

(20) 宿題を廃止することの是非

Yes

自由な時間をもつ必要性

誰でも自由な時間を持つ必要があります。

生徒たちに勉強をさせすぎると、心の健康を損ないかねません。

教育

(21) 宿題を廃止することの是非

No

自力で勉強するスキル

生徒は自力で勉強する方法を学ぶ必要があります。

このスキルは、生徒たちが年齢を重ねてから重要になります。

教育

(22) 宿題を廃止することの是非

No

教師やほかの生徒と使うべき限られた時間

読書といった活動は自宅で一人でもできます。

授業の時間は、教師や他の生徒たちとのディスカッションに使われるべきです。

教育

(23) 宿題を廃止することの是非

No

授業についていけない生徒

授業についていけない生徒もいます。

宿題は彼れが追いつく助けになります。

教育

(24) 高校生のアルバイトの是非

Yes

就職への好影響

企業は職務経験のある従業員を雇いたがります。

早期に仕事を始めた人は将来、よりよい仕事を見つけることができるでしょう。

教育

(25) 高校生のアルバイトの是非

Yes

若いうちに学ぶべき働くことの価値

生徒たちは若いうちに熱心に働くことの価値を学ぶべきです。

パートタイム勤務の仕事をするのはこれを可能にします。

教育

(26) 高校生のアルバイトの是非

No

勉強への集中の必要性

高校生は勉強に集中すべきです。

たくさん勉強しなければ、いい大学に入れません。

教育

(27) 高校生のアルバイトの是非

No

家族や友人と過ごすべき時間

高校生は家族や友人と自由な時間を過ごすべきです。

お金を稼ぐより良好な人間関係を持つことのほうが大切です。

教育

(28) 高校生のボランティア活動の是非

Yes

他人を助けることの貴重さ

他人を助けることは貴重な経験です。

若者はボランティア活動をすることで、このことに気づきます。

教育

(29) 高校生のボランティア活動の是非

Yes

就職への好影響

ボランティアの経験は職業経験に似ています。

企業はボランティア経験のある人を好んで採用します。

教育

(30) 高校生のボランティア活動の是非

Yes

経験を積む機会としてのボランティア

若者はさまざまな経験をすべきです。

ボランティア活動は新しいことに挑戦しさまざまな人々と出会うよい機会です。

教育

(31) 高校生のボランティア活動の是非

No

ボランティアが義務化されることの問題

ボランティア活動は生徒たちが自分でしたくてすべきものです。

生徒たちに選択権がなければボランティア活動は楽しくないでしょう。

教育

(32) 高校生のボランティア活動の是非

No

ボランティア活動をする時間のなさ

高校生はボランティア活動をする時間がありません。

彼らはすでに勉強やスポーツなど他の活動をしなければなりません。

教育

(33) 大学は社会人にもっと門戸を開くべきか

Yes

大学の費用の高さ

大学は多くの人々にとって費用が高すぎます。

働く大人なら大学の授業料を払うことができます。

教育

(34) 大学は社会人にもっと門戸を開くべきか

Yes

若い人にとってのメリット

社会人がもっと大学に通えば、若い人たちは彼らとコミュニケーションを取ることができます。

このことは若い人たちが仕事に就く助けとなる可能性があります。

教育

(35) 大学は社会人にもっと門戸を開くべきか

Yes

社会人がスキルを向上させる助け

仕事を持つ多くの人々は、自分のスキルを向上させたいと考えています。

大学でコースを取ることはその助けになります。

教育

(36) 大学は社会人にもっと門戸を開くべきか

No

大学のコースを修了する大変さ

大学のコースはとても難しいです。

フルタイムで働きながらでは、ほとんどの人は大学のコースを修了することはできないでしょう。

教育

(37) 大学は社会人にもっと門戸を開くべきか

No

大学のコースの非実用性

ほとんどの大学のコースでは実用的なスキルを教えていません。

仕事を持つ人々は、自分の仕事をよくする方法を学ぶことに集中するべきです。

教育

(38) 大学は社会人にもっと門戸を開くべきか

No

社会人が持つ多くの学習の選択肢

仕事を持つ人々にはすでに多くの学習の選択肢があります。

例えば、すぐれたオンラインコースがたくさんあります。

生活

(39) コンビニの人気は増すか

Yes

料理をする人の減少

最近では料理をする時間がある人は少なくなってきました。

そのため、そうした人々はコンビニエンスストアで食事を買います。

生活

(40) コンビニの人気は増すか

Yes

都市部に住む人の増加

大都市に住むことが一般的になってきています。

そして、大都市に住む人々はよくコンビニエンスストアへいきます。

生活

(41) コンビニの人気は増すか

Yes

販売される食品の向上

コンビニエンスストアの食品はどんどんよくなってきています。

労働者の中には、毎日コンビニエンスストアで食事を買っている人がたくさんいます。

生活

(42) コンビニの人気は増すか

No

健康面への配慮

今日、人々は健康をととても気にかけています。

しかし、コンビニエンスストアの食事は体によくないことが多いです。

生活

(43) コンビニの人気は増すか

No

高すぎる価格

コンビニエンスストアで売られている商品は高すぎます。

スーパーマーケットの方がコンビニエンスストアで売っているのと同じものが安く買えます。

生活

(44) 中古品を買う人は増えるか

Yes

悪くない品質

リサイクルショップで売られている中古品は状態がよいことが多いです。

安くて高品質な製品を買うことは可能です。

生活

(45) 中古品を買う人は増えるか

Yes

インターネットによる買いやすさ

中古品をインターネットで購入するのはとても簡単になってきています。

この傾向は今後も続くでしょう。

生活

(46) 中古品を買う人は増えるか

No

新品を買う魅力

多くの人は最新の製品を手に入れたいと思っています

新しいものを買うのはわくわくします。

生活

(47) 中古品を買う人は増えるか

No

品質上の問題

古い製品には問題があることがよくあります。

例えば、消費電力がより多く必要だったり、より頻繁に壊れたりします。

生活

(48) クレジットカードが現金にとって代わるか

Yes

お金の節約に役立つクレジットカード

クレジットカードはお金を節約するのに役立ちます。

例えば、クレジットカードでどのくらいお金を使ったかを簡単に確認することができます。

生活

(49) クレジットカードが現金にとって代わるか

Yes

現金の不便さ

現金は数えるのに時間がかかります。

クレジットカードを使った方が、支払いがスムーズです。

生活

(50) クレジットカードが現金にとって代わるか

No

お金の浪費につながるクレジットカード

多くの人はクレジットカードを使うと、お金を使いすぎてしまいます。

現金を使うことで、お金を節約しやすくなります。

生活

(51) クレジットカードが現金にとって代わるか

No

電子機器が動作しなくなるリスク

電子機器は動作しなくなるかもしれません。

この理由から、ほとんどの人々は現金を持ち歩いています。

生活

(52) 自宅で料理をする人は減るか

Yes

便利で健康的になった外食

外食はますます安く便利になってきています。

自宅で料理をするのは忙しい人にとっては面倒なことです。

生活

(53) 自宅で料理をする人は減るか

No

健康的で安い家の料理

最近では、多くの人が健康を心配しています。

家で料理をしたほうが健康でいやすいです。

生活

(54) 自宅で料理をする人は減るか

No

在宅勤務による料理のしやすさ

インターネットのおかげで、多くの人々が在宅で仕事を始めています。

これにより、料理がしやすくなっています。

生活

(55) 仕事のあとにジムに行く人は増えるか

Yes

ストレスの軽減

ジムに通うことでストレスが軽減されます。

ストレスの多い仕事のあとにジムに行けばより健康になれるでしょう。

生活

(56) 仕事のあとにジムに行く人は増えるか

Yes

ジムの立地のよさ

駅や職場の近くにたくさんのジムがあります。

帰宅途中にジムに行くのは便利です。

生活

(57) 仕事のあとにジムに行く人は増えるか

Yes

減る残業時間と増える自由時間

多くの企業は残業を認めないようになってきました。

これはつまり、社員は夕方自由になる時間が増えているということです。

生活

(58) 仕事のあとにジムに行く人は増えるか

No

仕事の疲労

多くの人々がとても遅くまで働かなければなりません。

彼らはとても疲れていて仕事のあとにジムに行くことはできません。

生活

(59) 仕事のあとにジムに行く人は増えるか

No

運動が嫌いな人

運動が嫌いな人はたくさんいます。

そうした人々は自由な時間があってもジムに通う可能性は低いでしょう。

生活

(60) 仕事のあとにジムに行く人は増えるか

No

高額なジムの会費

ジムの会費は高額です。

ずっと安く運動する方法がたくさんあります。

生活

(61) ペットにお金をかけすぎか

Yes

ペットにとって関心のあること

ペットはものの価値に関心がありません。

ペットにとっては、飼い主と時間を過ごすことが最も重要なことなのです。

生活

(62) ペットにお金をかけすぎか

No

家族同様のペット

多くの人々にとってペットは家族のようなものです。

ペットが高価なものが好きなら、それを買ってやるのは理にかなっています。

生活

(63) ペットにお金をかけすぎか

No

人それぞれのお金の使い道

お金をかけるものは人それぞれです。

お金をかけるものは人それぞれです。

生活

(64) 一人旅は団体旅行よりも楽しいか

Yes

一人旅の自由さ

一人旅をすると、何でもしたいことができます。

しかし、団体で旅行すると、自由が少なくなります。

生活

(65) 一人旅は団体旅行よりも楽しいか

Yes

一人旅でできるユニークな経験

一人旅をするときのほうがおおくのユニークな経験をすることができます。

例えば、地元の人々と容易に出会えます。

生活

(66) 一人旅は団体旅行よりも楽しいか

Yes

一人旅の気楽さ

一人旅の方がくつろげます。

例えば、他の人の予定を心配する必要がありません。

生活

(67) 一人旅は団体旅行よりも楽しいか

No

他の人と体験を共有できる楽しさ

旅行は他の人たちと一緒にのほうが楽しいです。

観光やその土地の食べ物などについて旅行仲間と話することができます。

生活

(68) 一人旅は団体旅行よりも楽しいか

No

計画を立てるのが好きな人の存在

旅行の計画を立てるのが好きでない人もいます。

団体に旅行するなら計画づくりはそれが楽しい人にやってもらえます。

生活

(69) 映画館で映画を観る人は減るか

Yes

お金のかかる映画館での映画鑑賞

映画館で映画をみるのは高くなります。

インターネットで映画を観る方がずっと安いです。

生活

(70) 映画館で映画を観る人は減るか

Yes

家で見られる映画

家で映画を観る方が便利です。

忙しい人は映画館へ行く時間がありません。

生活

(71) 映画館で映画を観る人は減るか

No

映画館で映画を見る楽しさ

映画館で映画を観るのは楽しいです。

映画館の方がスクリーンが大きく、音響もいいです。

生活

(72) 映画館で映画を観る人は減るか

No

友人や家族と過ごす楽しい方法

人々は仲間と映画を観に行くことを楽しんでいます。

それは、家族や友人との楽しい時間の過ごし方です。

生活

(73) 映画館で映画を観る人は減るか

No

映画館でしか上映されない新作

新しい映画は映画館でしか上映されません。

新しい映画を観るのを待ちたくない人々がたくさんいます。

環境・社会

(74) 環境への配慮は不十分か

Yes

大きすぎる問題

環境問題はあまりにも大きすぎて解決不可能に思えます。

自分たちには何もできないと考えている人々は問題を無視しようとします。

環境・社会

(75) 環境への配慮は不十分か

Yes

認識の欠如

自分が環境にどれだけ影響を与えているか、ほとんどの人は気が付いていません。

環境問題についての教育がもっと必要です。

環境・社会

(76) 環境への配慮は不十分か

No

ささやかな方法による環境保護

人はささやかな方法で環境を助けています。

例えば、リユースでくる箸や買い物袋を使っています。

環境・社会

(77) 環境への配慮は不十分か

No

一般的になった環境への配慮

ほとんどの人が環境に気を配っています。

そのため、省エネルギー型の商品が最近ではとても人気があります。

環境・社会

(78) 電力を使いすぎか

Yes

無自覚なエネルギー消費

ほとんどの人は、自分たちがどれだけのエネルギーを使っているのか気付いていません。

例えば、多くの機器は使われていないときもエネルギーを消費しています。

環境・社会

(79) 電力を使いすぎか

No

向上する電子機器のエネルギー効率

新しい電子機器は古い電子機器よりもエネルギーの消費が少なくなっています。

将来、電子機器はエネルギーをあまり消費しなくなるでしょう。

環境・社会

(80) ゴミを削減するのは困難か

Yes

人口とともに増加するゴミ

世界の人口が急増しています。

世界の人口が増えるため、ゴミも増えます。

環境・社会

Yes

(81) ゴミを削減するのは困難か

ゴミ削減に対する企業の無関心

企業はゴミの量をへらすことに関心がありません。

企業はしばしば、自社製品に多くの包装を使っています。

環境・社会

Yes

(82) ゴミを削減するのは困難か

現在のリサイクルの非効率性

現在のリサイクルプログラムは費用がかかり、非効率です。

私たちははもっと安く効率的にゴミを減らす方法を見つける必要があります。

環境・社会

No

(83) ゴミを削減するのは困難か

ゴミ削減に対する関心の広がり

最近では、ほとんど誰もがリサイクルをしています。

そして、私たちは子供たちにもゴミを減らすことが重要であると教えています。

環境・社会

No

(84) ゴミを削減するのは困難か

消費動向が変える企業の意識

最近、多くの人々は環境にやさしい商品だけを買いたいと思っています。

このことは企業に対し、ゴミを減らす助けとなるよう促しています。

環境・社会

Yes

(85) 無料のレジ袋を提供する店は減るか

料金を課す店舗

ビニール袋に料金を課すように店舗に求められている自治体もあります。

それはビニール袋が環境に悪いからです。

環境・社会

Yes

(86) 無料のレジ袋を提供する店は減るか

一般化したマイバッグ

店はもう無料の買い物袋を提供する必要はありません。

買い物に行くときは、自分の買い物袋を持っていくのに人々は慣れているからです。

環境・社会

No

(87) 無料のレジ袋を提供する店は減るか

当然のことと思っている客

多くの客が、何かを買ったときに袋をもらえるものだと思っています。

無料の買い物袋がないと、客は不満に思うでしょう。

環境・社会

Yes

(88) 都市部の交通は抑制すべきか

都市の問題となっている交通量

交通は混雑した都市では大きな問題です。

車の数を制限すれば多くの人々の通勤時間が短縮されるでしょう。

環境・社会

Yes

(89) 都市部の交通は抑制すべきか

大気汚染の解決

多くの都市で大気汚染がひどくなっています。

車の数を制限すればこの問題を解決する助けになるでしょう。

環境・社会

Yes

(90) 都市部の交通は抑制すべきか

歩行者との事故

大都市では多くの人が歩行しています。

車が多いと事故は増えます。

環境・社会

No

(91) 都市部の交通は抑制すべきか

通勤のための必要性

多くの人々が車で通勤する必要があります。

車の数を制限すればこうした人々に問題をもたらすでしょう。

環境・社会

No

(92) 都市部の交通は抑制すべきか

自動運転車などによる交通事情の改善

交通渋滞は将来、問題ではなくなるでしょう。

自動運転は交通をより速く効果的にするでしょう。

環境・社会

Yes

(93) レストランの禁煙化は進むか

喫煙が引き起こす健康問題

喫煙は他の人たちに迷惑をかけます。

多くの客は喫煙を認めるレストランで食事をしたくはありません。

環境・社会

Yes

(94) レストランの禁煙化は進むか

嫌われるタバコのにおい

多くの人はタバコの匂いが好きではありません。

そうした人々は喫煙を認めるレストランを敬遠します。

環境・社会

No

(95) レストランの禁煙化は進むか

進む分煙化

多くのレストランは喫煙エリアと禁煙エリアを分けています。

この仕組みならあらゆる客が満足できます。

環境・社会

(96) レストランの禁煙化は進むか

No

禁煙がもたらす顧客減

喫煙は人気があります。

多くの喫煙者は喫煙できないレストランには行かないでしょう。

環境・社会

(97) 公共の場所における携帯電話のマナーは悪くなっているか

Yes

無視される標示

公共の場所の多くの標示には通話を控えるよう書かれています。

しかし、多くの人々がこうした標示を無視しています。

環境・社会

(98) 公共の場所における携帯電話のマナーは悪くなっているか

No

通話以外の通信手段

電話で話す人は最近では減ってきています。

スマートフォンを使えば誰にも迷惑をかけずに簡単にメッセージを送ることができるからです。

環境・社会

(99) 防犯カメラを増やすことの是非

Yes

安全世の向上

防犯カメラは安全性を高めています。

多くの人、近くに防犯カメラがあるときに法律を犯しはしません。

環境・社会

(100) 防犯カメラを増やすことの是非

Yes

維持されるプライバシー

防犯カメラの映像は普段、犯罪が起こった後にしか確認されません。

これはつまり、人々のプライバシーは依然として保たれているということです。

環境・社会

(101) 防犯カメラを増やすことの是非

No

すでに十分な（防犯カメラの）設置数

すでに防犯カメラは十分にあります。

ほとんどの場所は防犯カメラで保護されているので、これ以上は必要ありません。

環境・社会

(102) 防犯カメラを増やすことの是非

No

守られるべきプライバシー

人はプライバシーが保たれる必要があります。

人は防犯カメラで録画されたくはありません。

ビジネス・IT・メディア

(103) ワークシェアリングの是非

Yes

働きすぎの日本人

最近、特に日本では人々は働きすぎています。

労働時間を減らす必要があります。

ビジネス・IT・メディア

(104) ワークシェアリングの是非

Yes

一人が休んでも進められる仕事

人々は仕事を休まなければならないことがあります。

自分の仕事を他の人たちと分担していれば、それでも仕事を終わらせることができます。

ビジネス・IT・メディア

(105) ワークシェアリングの是非

No

適切な割り振りの難しさ

うまく協力して仕事ができる人を見つけるのは難しいです。

このシステムでは、おそらく多くの時間とお金が無駄になります。

ビジネス・IT・メディア (106) ワークシェアリングの是非

No

不明確になる責任の所在

ワークシェアリングは混乱を引き起こす可能性があります。

どの社員がどの仕事の責任を持つかが明確ではありません。

ビジネス・IT・メディア (107) 副業を認める企業は増えるか

Yes

副業を行える時間

社員が複数の仕事を持つのは簡単です。

多くの仕事は夜や週末に行うことができます。

ビジネス・IT・メディア (108) 副業を認める企業は増えるか

Yes

残業を認めない企業

最近では、社員に残業を認める企業が減ってきています。

もっとお金が欲しい人は副業で得る必要があるでしょう。

ビジネス・IT・メディア (109) 副業を認める企業は増えるか

No

従業員に集中を求める企業

企業は社員に自社の仕事に集中することを望んでいます。

社員に他の仕事を持つことを認めることはないでしょう。

ビジネス・IT・メディア (110) 副業を認める企業は増えるか

No

従業員に忠誠を求める企業

企業は社員に忠実であることを求めます。

社員が複数の仕事を持っていたら、企業は社員を信用することができません。

ビジネス・IT・メディア (111) 海外進出する日本企業は増えるか

Yes

縮小する国内市場

日本の人口は減少してきています。

将来の成功のために企業は海外の人々に製品を売る必要が出てくるでしょう。

ビジネス・IT・メディア (112) 海外進出する日本企業は増えるか

Yes

安くなる国外配送と日本製品の評判

国外配送はこれまでよりも安く、効率的になってきています。

その結果、海外への製品の販売はさらに利益が出るようになりつつあります。

ビジネス・IT・メディア (113) 海外進出する日本企業は増えるか

No

人口と共に減少する企業

日本の人口は減少してきています。

その結果、日本の企業はおそらく将来減っていくでしょう。

ビジネス・IT・メディア (114) 海外進出する日本企業は増えるか

No

英語を話せる従業員の欠如

多くの日本の企業には英語を話す社員がいません。

こうした企業が他国の企業と競合するのは困難です。

ビジネス・IT・メディア (115) コマーシャルは大きな影響を与えているか

Yes

たくみに人に影響を与えるコマーシャル

コマーシャルはとてもたくみに人に影響を与えます。

例えば、有名人が宣伝すると商品は魅力的に見えます。

ビジネス・IT・メディア (116) コマーシャルは大きな影響を与えているか

Yes

購買意欲をそそるコマーシャル

多くの人々はお金を稼ぐことについて気にしすぎています。

コマーシャルが人に高価なものを買いたいと思わせているのです。

ビジネス・IT・メディア (117) コマーシャルは大きな影響を与えているか

No

コマーシャルへの慣れ

人々はコマーシャルを見るのに慣れてしています。

彼らは企業が自社の商品を売ろうとしているだけだと知っています。

ビジネス・IT・メディア (118) コマーシャルは大きな影響を与えているか

No

無視できるコマーシャル

コマーシャルを無視するのは簡単です。

例えば、テレビ番組を録画すれば、コマーシャルを飛ばすことができます。

ビジネス・IT・メディア (119) コマーシャルは大きな影響を与えているか

No

コマーシャルのないメディア

最近では、番組や映画を見るのに多くの人がオンライン動画サービスを利用しています。

こうしたサービスにはたいていコマーシャルはありません。

ビジネス・IT・メディア (120) SNSに個人情報をのせるのは危険か

Yes

SNSに個人情報を載せる危険

オンライン上で個人情報を載せるのは危険です。

例えば、危険人物があなたがどこに住んでいるかを知ることができてしまいます。

ビジネス・IT・メディア (121) SNSに個人情報をのせるのは危険か

Yes

消せない個人情報

多くの人はオンライン上に多くの情報を載せすぎたことを後悔しています。

ソーシャルメディアから古い情報を完全に消すのは難しいです。

ビジネス・IT・メディア (122) SNSに個人情報をのせるのは危険か

No

新たな関係をもたらすSNS

個人情報の投稿は新しい人間関係につながる可能性があります。

例えば、自分と同じ趣味を持つ人を見つけることができます。

ビジネス・IT・メディア (123) SNSに個人情報をのせるのは危険か

No

世界中の人と共有される情報

人々がソーシャルメディア上で情報を共有することは重要です。

世界中の人とつながることができるのです。

ビジネス・IT・メディア (124) SNSに個人情報をのせるのは危険か

No

プライバシーを保護する設定

今日ではソーシャルメディアサイトには多くの便利な機能があります。

個人情報へのアクセスを制限することが可能です。

ビジネス・IT・メディア (125) 人々はインターネットに過剰に依存しているか

Yes

インターネット上に保存される多くの情報

人々は多くの重要な情報をインターネット上に保存しています。

この情報がなくなったら多くの問題を引き起こすでしょう。

ビジネス・IT・メディア (126) 人々はインターネットに過剰に依存しているか

Yes

インターネットにアクセスできなくなるリスク

人々はさまざまな原因でインターネットにアクセスできなくなる可能性があります。

インターネットへのアクセスなしにやっていけるよう備えるべきです。

ビジネス・IT・メディア (127) 人々はインターネットに過剰に依存しているか

No

生活を楽しで便利にするインターネット

インターネットはとても便利な道具です。

インターネットは私たちの生活をより楽に便利にしています。

ビジネス・IT・メディア (128) 電子書籍は紙の書籍にとって代わるか

Yes

多数の本を持って歩ける電子書籍

紙の本は重すぎます。

電子端末なら何百冊もの本を持ち歩くことができます。

ビジネス・IT・メディア (129) 電子書籍は紙の書籍にとって代わるか

Yes

家にいてすぐには買える電子書籍

電子書籍は紙の本よりも便利です。

本をオンライン購入してすぐにダウンロードすることができます。

ビジネス・IT・メディア (130) 電子書籍は紙の書籍にとって代わるか

No

目の負担になる電子書籍

多くの人は電子端末の画面で本を読むのに苦労します。

そうした人々は紙の本を使い続けるでしょう。

ビジネス・IT・メディア (131) 電子書籍は紙の書籍にとって代わるか

No

すでに家にある紙の書籍

ほとんどの人は家にすでにたくさんの紙の本があります。

家族は長い間これらの本を読み続けるでしょう。

日本と世界 (132) 外国語を話す店員は増えるか

Yes

増える訪日観光客

日本を訪れる観光客はどんどん増えています。

店員は観光客とコミュニケーションを取れるようになる必要があります。

日本と世界 (133) 外国語を話す店員は増えるか

Yes

日本語を話さない訪日外国人

日本を訪れるほとんどの人は日本語を話しません。

複数の言語を話す店員のいる店のほうが多くの外国人を集めるでしょう。

日本と世界 (134) 外国語を話す店員は増えるか

No

買い物で店員と話す必要のなさ

ほとんどの買い物客は店員と話す必要がありません。

誰とも話さずに買い物をすることは可能です。

日本と世界 (135) 外国語を話す店員は増えるか

No

習得のための費用を出さない企業

ほとんどの企業は店員が外国語を学ぶ費用を出さないでしょう。

そのため、企業は店員に外国語を話すように求めることはできません。

日本と世界

(136) 公共の場所の標示は英語以外でも書くべきか

Yes

アジア人旅行者のための標示

最近、日本にはアジアの国々からたくさんの旅行者が来ています。

こうした旅行者をサポートするために、ほかの言語で書かれた標示を書くべきです。

日本と世界

(137) 公共の場所の標示は英語以外でも書くべきか

Yes

歓迎すべき訪日外国人

日本は多くの国々からの旅行者を歓迎するべきです。

旅行者が自分の国の言語で書かれた標示を目にしたら、日本をもっと好きになるでしょう。

日本と世界

(138) 公共の場所の標示は英語以外でも書くべきか

No

簡単な英語の標示を読める旅行者

英語は世界的な言語です。

日本に旅行に来るほとんどの人は英語で書かれた簡単な標示を読むことができます。

日本と世界

(139) 公共の場所の標示は英語以外でも書くべきか

No

スマートフォンで翻訳できる標示

標示を翻訳するのにスマートフォンを使うことができます。

標示に翻訳を書くのは時間とお金のむだです。

日本と世界

(140) 日本語を学ぶ外国人は増えるか

Yes

アニメ人気とともに高まる日本語学習の意欲

日本のアニメは海外でとても人気が出てきています。

その番組で使われている日本語を理解したい人は増えるでしょう。

日本と世界

(141) 日本語を学ぶ外国人は増えるか

Yes

向上する日本語学習ツール

日本語学習ツールは最近では改善されました。

これはつまり、日本語を学ぶのがさらに簡単になってきているということです。

日本と世界

(142) 日本語を学ぶ外国人は増えるか

No

スマートフォンでできるコミュニケーション

技術のおかげで、もはや外国語を翻訳することは難しくありません。

日本語を勉強することは観光客にとって重要でなくなりつつあります。

日本と世界

(143) 海外に住む日本人は増えるか

Yes

技術が容易にした海外移住

技術のおかげで、海外に住むのはこれまでよりも容易になっています。

オンラインで仕事をしている人はほとんどどこにでも住むことができます。

日本と世界

(144) 海外に住む日本人は増えるか

Yes

インターネットで海外に興味を持つ人々

インターネットのおかげで、人々は以前よりも外国の文化に関心を持つようになっています。

その多くが海外に住みたいと思っています。

日本と世界

(145) 海外に住む日本人は増えるか

No

人口減少と仕事の得やすさ

日本は人口が高齢化しています。

将来、日本で仕事を得やすくなるため、日本を離れる人は減るでしょう。

日本と世界

(146) 海外に住む日本人は増えるか

No

海外に住むことを不安に思う日本人

日本の若い人のほとんどは、外国に住むことを不安に思っています。

日本にずっと住みたいと思っています。

日本と世界

(147) 和食は海外でさらに人気を増すか

Yes

すでに人気のある和食

寿司とラーメンはすでに海外で人気があります。

人々は将来、他の和食も食べてみたいと思うでしょう。

日本と世界

(148) 和食は海外でさらに人気を増すか

Yes

健康によい和食

伝統的な和食はとても健康的です。

健康になりたい人は和食をもっと試してみるでしょう。

日本と世界

(149) 和食は海外でさらに人気を増すか

No

海外の和食レストランの質の低さ

外国の和食料理店はたいていあまりおいしくありません。

そのため、人々は和食に関心を持つようにならないでしょう。

日本と世界

(150) 和食は海外でさらに人気を増すか

No

日本人と異なる食の好み

多くの外国人が和食の中には変わったものがあると考えています。

彼らは日本人と同じ食べ物を好むわけではありません。